

# イボタノキの仲間（以下、「イボタノキ」で代替）

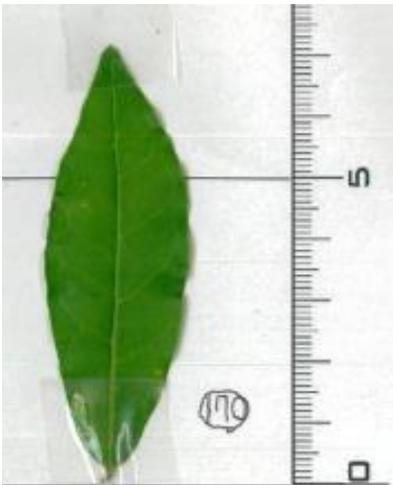
【<sup>くかく</sup>区画②⑦(170)】

学名	<i>Ligustrum obtusifolium</i> Siebold et Zucc.	分類	モクセイ科イボタノキ属
分布	北海道～九州	樹高	2～4mの落葉低木

## 〈特徴等〉

名前の由来	・樹皮に、白いイボタロウムシが寄生するため。		
葉の特徴	① 常緑 ・ 落葉	② 広葉 ・ 針葉	
	③ 対生 ・ 互生	④ 単葉 ・ 複葉	⑤ 鋸歯縁 ・ 全縁
開花等	・5月頃、白色の小さい花を密に付ける。		
結実等	・果実は秋に熟し、紫黒色(暗い紫色)で、小さな楕円体である。		
その他	・イボタロウムシが分泌したろう(イボタ蠟)は家具のつや出しなどに使われる。		

## 〈写真〉

		
樹木 (4/3)	樹皮 (5/12)	葉の付き方 (4/3)
		
葉 (6/12)	花 (/)	果実(実) (/)

〈参考文献〉 牧野富太郎(2017)『新分類 牧野日本植物図鑑』北隆館, p.908.  
林 将之(2018)『葉で見わかる樹木 増補改訂版』小学館, p.112.